

検討の観点と内容特色

検討の 観点	内容特色
(1) 内 容	<p>【学習指導要領との関連】 * 学習指導要領に掲げられた「ライティング」の目標， 情報や考えなどを， 場面や目的に応じて英語で書く能力を更に伸ばすこと， この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てること， が無理なく達成できる内容である。</p> <p>【教材の特徴】 * Part 1「基礎編」では，日本とアメリカの高校生が文通を始め次第に互いの友情を深めていく物語が，まとまった英文（モデル文）で提示され，そのモデル文に出てくる文法事項や表現の習得を通して，正確な英文を書くための基礎が身につくように構成されている。 * Part 2「コミュニケーション編」では，異文化，社会現象，社会問題などに関するまとまった英文がモデル文として提示され，さらにそのモデル文を教材として，パラグラフの概念や目的にあわせた文章の構成法が身につくように工夫されている。 * コラムには，メモを取ったり形式的な書類に記入するなど，日常生活の中での具体的な場面を取り上げ，様々なタイプの英語を書く実践的な活動が用意されている。</p> <p>【難易度】 * 英語の基礎・基本を体系的に網羅し，正確に英語を書く力をつけるために，基本文型から分詞構文や無生物主語構文・強調構文までが，適切な例文とともに幅広く扱われ，難易度としても適当である。 * 生徒が自らの考えや意見を，ある程度長さのあるまとまった英語で書く能力を身につけることができる。</p> <p>【内容の取り扱い】 * 各課のはじめに，まとまった長さの「モデル文」が提示され，その中に現れた文法事項や重要表現を取り上げて学習する。さらにPart 2では，「モデル文」を参考にしながら，段落の構成法などが学習できるようになっている。 * 「書く」活動はもちろん，その他「読む」「聞く」「話す」活動にも配慮されている。</p>

<p>(2) 構 成 ・ 分 量</p>	<p>【全体】 * Part 1「基礎編」が24課，Part 2「コミュニケーション編」が12課で構成されている。 * 全体の分量は，1年間の授業数などを考慮すると適当である。</p> <p>【本課】 * 本課は，「モデル文」の導入の後，<文法のまとめ>で学習すべき文法事項が例文とともに提示されている（Part 2では，さらに<言語の機能>の学習が加わる）。その後，学習内容の定着を図るために，3段階の<練習問題>が用意されている。 * <練習問題>には，場面や目的などを明示した上で，実際に自分の考えなどを書かせる活動が設けられ，実践的コミュニケーション能力の向上を図ることができる。</p>
<p>(3) 表 記 ・ 表 現 及 び 使 用 上 の 便 宜</p>	<p>【英語】 * 英語は現代の標準的なアメリカ英語を基調とし，個々の表記・表現についても，この方針にしたがって適切に表記されている。</p> <p>【紙面】 * <モデル文> <文法のまとめ> <練習問題>が見やすくレイアウトされ，イラストも適切に挿入されていて，効果的な学習が期待できる（全ページフルカラー）。</p> <p>【使用上の便宜】 * どのような場面にでも対応できるように，多岐に亘るテーマごとの「単語リスト」と，「重要表現リスト」が巻末に収められている。 * 「句読法のまとめ」や「手紙の書き方」が見返しに置かれ，英語を書く際に常に参照できるようになっている。 * 判型は扱いやすいB5変型判，ページ数は132ページで，1年間の授業数などを考慮すると適当である。</p>
<p>(4) そ の 他</p>	<p>【充実した補助教材】 * 学習の効率を高めるための補助教材が充実している。</p> <p>【環境への配慮】 * 再生紙を使用するだけでなく，化学物質過敏症を誘発しない大豆インクで印刷するなど，人と環境への配慮も十分になされている。</p>